

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） P C a 受梁の製作について

トピックス

東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）連絡誘導路部の建設工事においては、平成20年3月25日に連絡誘導路部ジャケット全40基のうち第1基の据え付けを開始して以来、6月22日までに第8基までの据付を完了し、D滑走路本体と現空港を結ぶ連絡誘導路橋の全貌が徐々に明らかになりつつあります。

連絡誘導路部は、総延長620mの栈橋部と橋梁部からなり、その栈橋部は、鋼管杭、鋼製のジャケット、コンクリート製の受梁・床版、舗装で構成されます。

このうち、連絡誘導路の受梁・床版部は、厳しい塩害環境に対する塩害耐久性を確保するため、ひび割れ制御が可能なP C 梁スラブ構造とするとともに、現場作業の低減による工程遅延リスクの回避及び品質の確保を目的として、部材のプレキャスト化を図っています。

P C 梁スラブ構造の概要は、ジャケット上の橋軸方向にプレキャストP C 受梁（以下、P C a 受梁）を設置し、ジャケットとP C a 受梁をコンクリートで剛結した後、ポストテンション方式（現場での緊張）により梁を一体化するとともに、横桁や床版を配置して航空機荷重に耐えられる構造としています。

また、P C a 受梁の製作にあたっては、千葉県袖ヶ浦市中袖の袖ヶ浦埠頭に製作ヤードを整備し、週5～6本のペースで製作しています。現在、全414本のうち73本が製作完了しており、平成20年6月20日からP C a 受梁の現場架設が開始されています。P C a 受梁の製作は、平成21年7月初旬頃まで行われる予定です。

平成20年6月24日
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

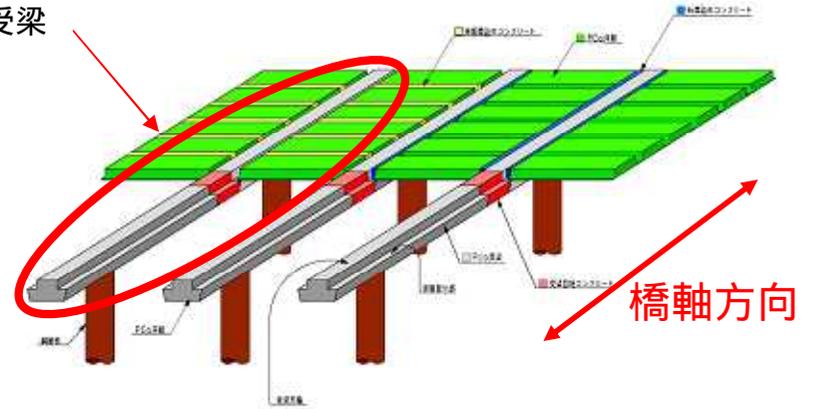
問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 北川・浦野
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階
電話 03-5756-6580
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

PCa受梁の概要



PCa受梁



PCa受梁製作フロー

型枠組立



鉄筋・シース組立



コンクリート打設



脱枠



PCケーブル



仮置き場へ移動



仮置き



ヤード位置図



ヤード全景

